

VILLAGE-OUT COURSE

【 ビレッジコース 】

林を吹きぬげる風を感じながら、優美にゆったりと。アウトコースは山原(やんばる)の自然を生かしたビレッジコース。琉球松、イタジイ、ニッパヤシ...南国の豊かな樹木が風にそよぎ、沖繩だけに生息するめずらしい野鳥や昆虫が舞われる。スコットランドのリンクスと沖繩の自然との融合。その見事なハーモニーはプレーヤーを癒きさせることはない。

HOLE	Par	Tee			
		RED	WHITE	BLUE	BLACK
1	4	272	323	400	425
2	3	128	146	171	186
3	4	279	339	339	376
4	5	406	458	472	494
5	4	323	364	382	478
6	3	103	158	158	177
7	4	291	389	389	423
8	5	480	514	530	552
9	4	291	318	375	416
OUT	36	2,573	3,009	3,216	3,527

※距離表示につきましては設計図面と多少の誤差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。(単位:ヤード) *はレイアースティ

VILLAGE COURSE
1H
the first hole.
PAR 4
RED: 272 YD
WHITE: 323 YD
BLUE: 400 YD
BLACK: 425 YD

中央から2段グリーンになっています。手前から奥へのパットならば、思い切ってパットすることです。
※グリーン上の矢印は、芝目の方向です。
※ホール中のヤーデージ表示は、グリーンエッジまでの距離を表わしています。

スターティングホールはティショットが打ち上げになる左ドッグレッグのミドルホール。ティショットは、正面のバンカー方向が良いでしょう。第2打は手前からの攻めを心がけてください。また、グリーンは2段になっています。ピンの位置をチェックして、第2打のクラブ選択をしましょう。

VILLAGE COURSE
2H
the second hole.
PAR 3
RED: 128 YD
WHITE: 146 YD
BLUE: 171 YD
BLACK: 186 YD

グリーンセンターにマウンドがあります。このマウンドに影響されるラインは注意してパットを。

池とバンカーでガードされたショートホールです。距離は短いホールですから、池やバンカーに惑わされず、しっかりとスウィングすればワンオンは難しくありません。池、バンカーなどのハザードに気を奪われると、大きなミスになります。距離を的確に判断し、ティによってショートアイアンからロングアイアンまで使い分けることが大切です。グリーンに絶対乗せるという気持ちでショットしてください。

VILLAGE COURSE
3H
the third hole.
PAR 4
RED: 279 YD
WHITE: 339 YD
BLUE: 339 YD
BLACK: 376 YD

グリーンの手前と奥とは大きな高低差があります。上に乗せたときはソフトなタッチで2パット狙い。

やや左ドッグレッグのミドルホールです。ティショットは正面に見えるバンカー方向が狙い目。フェアウェイの左サイドに打つと、第2打は木越えの厄介なショットになります。右のマウンド方向がベストポジション。グリーンはアンジュレーションがきつく、奥から難しいラインのパットが残ります。手前から攻めるのがパーセーブのポイントです。

VILLAGE COURSE
4H
the fourth hole.
PAR 5
RED: 406 YD
WHITE: 458 YD
BLUE: 472 YD
BLACK: 494 YD

グリーン中央が高くオウン型になっている。全体に左が高く、芝目も左から右に流れている。

ティグラウンドからグリーンまで真っ直ぐにのびるロングホールです。ティショットは力まずにセンター狙い。飛ばすことよりも、まずフェアウェイに確実に。ロングヒッターには2オンも可能ですが、左サイドに注意して、センターへ確実にボールを運ぶのがベストルート。

VILLAGE COURSE
5H
the fifth hole.
PAR 4
RED: 323 YD
WHITE: 364 YD
BLUE: 382 YD
BLACK: 478 YD

グリーン右に大きなマウンドがあり、このマウンドにかかるラインは神経を使います。芝目は奥から順目。

やや打ち上げの距離のあるミドルホール。ティショットはセンターが狙い目。第2打地点のフェアウェイにはアンジュレーションがあるので慎重に。第2打は打ち上げになりますから、クラブ選択は大きめがいいでしょう。グリーンは右半分が大きなマウンドになっており、右サイドに乗せるとパッティングに神経を使います。やはり、左サイドに乗せるのが無難。

VILLAGE COURSE
6H
the sixth hole.
PAR 3
RED: 103 YD
WHITE: 158 YD
BLUE: 158 YD
BLACK: 177 YD

奥行きがあるグリーンに乗る位置によっては難しい。前半分は傾斜がきつく、慎重にパットを。

やや打ち下ろしのショートホール。琉球松に囲まれた砲台グリーンは、距離もあるだけにワンオンさせるのはなかなか厄介です。グリーン前は谷、ショートは禁物です。大きめのクラブで思い切ってスウィングしましょう。ピンの位置によってクラブが1〜2番手違うのでピンの位置をチェックして、クラブ選択をしてみてください。ここはしっかりパーをキープしたいものです。

VILLAGE COURSE
7H
the seventh hole.
PAR 4
RED: 291 YD
WHITE: 389 YD
BLUE: 389 YD
BLACK: 423 YD

中央が高くなっている。手前から奥に向かってのパットはショートしやすい。芝目は山から海に向いている。

左ドッグレッグ打ち上げのミドルホールです。ティショットは、正面に見えるバンカーの左サイドを狙うのが安全ルートです。左サイドの林をショートカットするにはドライバーショットの正確性と距離が必要で、ギャンブルになります。方向をしっかりとチェックすることが大切です。

VILLAGE COURSE
8H
the eighth hole.
PAR 5
RED: 480 YD
WHITE: 514 YD
BLUE: 530 YD
BLACK: 552 YD

横長のグリーン左奥にマウンドがある。ピンが左奥にある時は短いパットでも気を抜かないように。

豪快な打ち下ろしのロングホール。谷越えとなる第2打がカギ。自分の技術に見合った攻略ルートを立てることが必要です。2オンはほとんど無理ですから、第3打に自分の得意なクラブの距離を残すように。ちよびりプロフェッショナル気分を味わいながら戦略を立ててみるのも手。グリーンは横長ですから、狙う角度によって正確な距離感が大切です。

VILLAGE COURSE
9H
the ninth hole.
PAR 4
RED: 291 YD
WHITE: 318 YD
BLUE: 375 YD
BLACK: 416 YD

大きなマウンドではないので、思い切ってパーティ狙い。ただ、奥に向かって傾斜していることに注意。

右ドッグレッグのやや打ち下ろしのミドルホール。ティショットはフェアウェイバンカー方向が狙い目です。ティが前ならば、思い切ってワンオンを狙ってみるのも面白いでしょう。パーディチャンスのあるホールですから、大胆に攻めてみてください。ただし、前の組への打ち込みには十分、ご注意を。

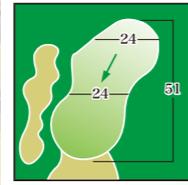
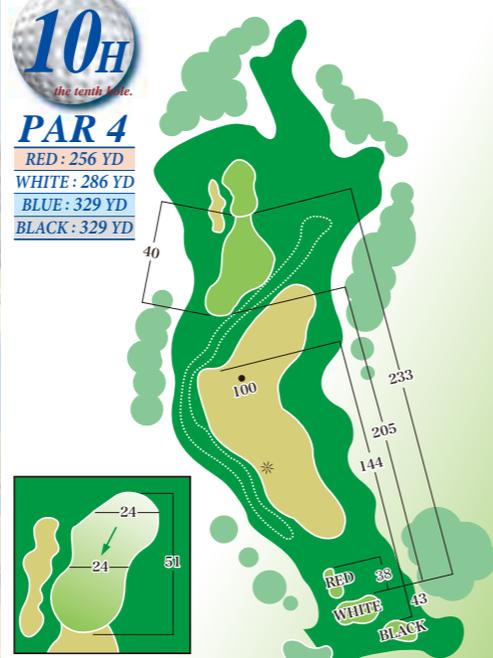
SEA SIDE—IN— 【シーサイドコース】COURSE

見渡せば海、美しい風景のなかで風爽と、雄大に。青い空と組習の海が一体となったような雄大な景観、海岸を連想させる池と白いバンカーのコントラスト、美しさのなかに牙を隠しながらプレーを待つ、夕暮れ、リンクスという海を“航海”してきたゴルファーは、クラブハウスという港で心地よいひとときを過ごす。



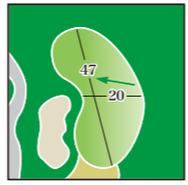
HOLE	Par	RED	WHITE	BLUE	BLACK
10	4	256	286	329	329
11	4	302	348	348	400
12	5	428	488	488	533
13	3	101	137	179	179
14	4	299	355	378	378
15	5	447	541	567	598
16	4	305	356	426	426
17	3	122	155	180	211
18	4	257	334	365	365
IN	36	2,517	3,000	3,260	3,419
TOTAL	72	5,090	6,009	6,476	6,946

SEA SIDE COURSE
10H
the tenth hole.
PAR 4
RED: 256 YD
WHITE: 286 YD
BLUE: 329 YD
BLACK: 329 YD



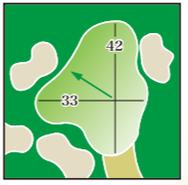
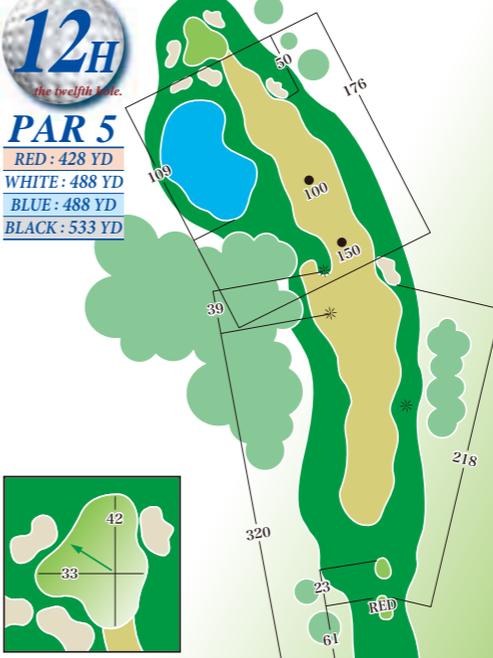
全体的に平らなグリーンでラインよりも距離に集中。手前からやや重く、しっかりとストロークすること。

SEA SIDE COURSE
11H
the eleventh hole.
PAR 4
RED: 302 YD
WHITE: 348 YD
BLUE: 348 YD
BLACK: 400 YD



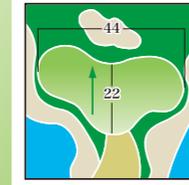
2段グリーン。下の段のグリーンは右サイドが高く、上の段は左奥にコブがあり、ラインと距離カンに注意。

SEA SIDE COURSE
12H
the twelfth hole.
PAR 5
RED: 428 YD
WHITE: 488 YD
BLUE: 488 YD
BLACK: 533 YD



左バンカーからグリーン中央に向かって傾斜があり、速い。また左奥からのバンカーからは重い。

SEA SIDE COURSE
13H
the thirteenth hole.
PAR 3
RED: 101 YD
WHITE: 137 YD
BLUE: 179 YD
BLACK: 179 YD



横長でセンターから左右に2つに分かれている。センター部分は、奥のバンカーに向かって下がっています。

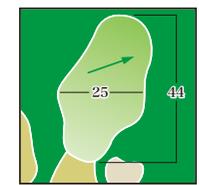
わずかに打ち上げの右ドッグレッグのホール。フェアウェイは広く、思いきってティショットが打てます。フェアウェイ中央をドライクreekの手前に残り、ショートアイアンでの第2打で勝負というのも1つの攻略法です。また、縦長の大きなグリーンなのでセカンドショットの距離をチェックする必要があります。

大浦湾を正面にした打ち下ろしのストレートなミドルホールですが、中央の松の木を境にして2つのフェアウェイに分かれています。松の木の左サイドがベストポジションです。グリーンは縦長に長く、センターを境に大きくうねっていますので、パッティングには注意が必要です。ピンが上の段ならば思い切って打ってみましょう。

リズムによってパー、バーディを狙いたい打ち下ろしのロングホールです。ティショットは、フェアウェイセンターの椎の木を目標に打ってください。セカンドは右にバンカー、左に大きな池が待ちかまえていますので、自信のあるクラブで方向を重視した正確なショットを心がけてください。また、グリーン左サイドのバンカーは、深く、難しいので注意してください。

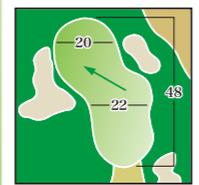
沖繩の海バックに池とビーチバンカーのコントラストがとても美しいショートホールです。ティによって、距離も違ってきます。距離をしっかりとつかんでクラブ選択を。池を怖がってヘッドアップやボールの行く方向ばかりを気にした早打ちを避けることです。周囲の景観を楽しむつもりでゆったりとしたテンポでスウィングしましょう。

SEA SIDE COURSE
14H
the fourteenth hole.
PAR 4
RED: 299 YD
WHITE: 355 YD
BLUE: 378 YD
BLACK: 378 YD



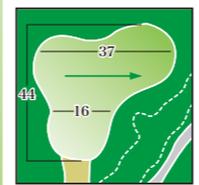
グリーンの両端にマウンドがあり、両端は3段グリーン。カップの位置によっては、難しいパットになります。

SEA SIDE COURSE
15H
the fifteenth hole.
PAR 5
RED: 447 YD
WHITE: 541 YD
BLUE: 567 YD
BLACK: 598 YD



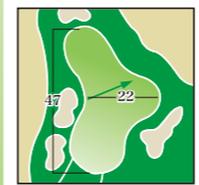
縦に長い、大きなグリーン。岬の突端で芝目が強く、傾斜と芝目の向きを考えて、パットすることです。

SEA SIDE COURSE
16H
the sixteenth hole.
PAR 4
RED: 305 YD
WHITE: 356 YD
BLUE: 426 YD
BLACK: 426 YD



グリーン左手前から右奥に向かって順目になっている。ボールの転がりもスムーズで距離カンに注意。

SEA SIDE COURSE
17H
the seventeenth hole.
PAR 3
RED: 122 YD
WHITE: 155 YD
BLUE: 180 YD
BLACK: 211 YD



高低差のあるグリーンで、傾斜が強く、奥からのパットは速い。無理せず2パット狙いでいくことです。

SEA SIDE COURSE
18H
the eighteenth hole.
PAR 4
RED: 257 YD
WHITE: 334 YD
BLUE: 365 YD
BLACK: 365 YD



右の奥から左手前に向かって芝目が流れ、左からのパットは速い。しっかりとストロークすることです。

打ち上げのミドルホールです。グリーンは大きく、受けていますので、左手前から攻めていくのが得策でしょう。右手前のバンカーに入れると厄介です。グリーンは縦長で、高低差があります。ピンの位置に注意してください。

やや左ドッグレッグの打ち下ろしのロングホール。16番ホールの池が目に入り、プレッシャーとなりますが、きちんと方向を定めてアドレスをとり、自信を持ってスウィングすることです。また、このホールは岬に位置していますから、両サイドからの風の向きに注意を。

このホールのティショットは飛距離より正確性が要求されるホールです。また右から海風が吹くので風向きによく注意すること。フェアウェイバンカーにつかまると厄介ですから、バンカーを避けることに集中。第2打で距離が残ったならば、グリーンを直接狙わず、グリーン左手前の花道に。アプローチで勝負。

カヌチャ浜沿いの断崖上の3つの屋根にセッティングされた難易度の高いホール。太平洋に半島状に突き出たこのショートホールは、右手前が谷、左サイドにはバンカーと、たいへんにスリリングなホールになっています。海からの風をまともに受けることになるので風を十分に計算して、クラブ選択に十分に気をつけることです。

クラブハウスに向かって広がるやや打ち下ろしのミドルホール。このホームホールはティショット、セカンドショットともに池がからみ、気の許せないホールです。ティショットは右のサイドバンカー一方向を狙い目です。また、第2打は残り距離によっては、無理にグリーンを狙わず、グリーン手前に刻み、左の花道から攻めるのが安全策です。